

政府は、直ちに米価回復対策をとれ

米つって飯くえねえ9・29中央行動

今年も安ければ生産は続けられない

昨年産米価は、六〇kg当たり約一萬六千円の生産費をつぎ込んで、手取りが一万円にも満たない異常な価格となりました。今年も昨年同様の低米価なら、来年こそはコメ作りをやめるとの声が多く、雪崩のように米作りからの撤退が進みかねない事態となっています。

こうした中で今年産米の価格は、全農が概算金を昨年より数百円から千円余り引き上げた分だけ、値を戻しているものの、再生産を維持する水準には程遠い状況にあります。

しかも、今年6月末の主食用米の民間在庫は二三〇万トと近年にない高い水準にあり、業者が昨年産米の過剰在庫を抱えています。昨春秋、政府が民間団体（米穀機構）を支援して「売り急ぎ防止対策」として市場から隔離した三十六万トの米が十一月以降、市場に放出されようとしており、放置すれば米価に大きな影響を与える可能性があります。

三〇万ト程度の市場隔離が不可欠

暴落した米価を回復させるため、米価決定の市場任せをやめ、需給と価格の安定に国が責任を持つ政策を確立するとともに、当面、「売り急ぎ防止」事業による、十一月以降の市場への悪影響を回避するため、過剰と思われる三〇万ト程度の市場隔離の対策を政府が実施することが不可欠です。

農民連は、アベノミクスによる米政策を突き破って政府に米価下落対策をとらせるために国民の主食・米を守る国民的な運動を呼びかけるとともに、その行動の一環として「米つって飯くえねえ 国民の主食を守る9・29中央行動」への結集を呼びかけます。全国から総結集しましょう。

◇1部 国会請願昼休みパレード

- 日時 9月29日（火）
- 場所 日比谷公園（霞門）11時半集合
- 内容 12:00～ 出発集会
12:15～ お昼休み国会請願パレード
トラクター、軽トラを先頭に、米俵やぐらなどを先頭にパレード。マスコミにも取材要請します。
- 呼びかけ団体 全労連 全農協労連 新婦人 農民連
- 協賛団体 大運動実行委員会 全国食健連(予定)

◇2部 農水省交渉

- 場所 衆議院第2議員会館1F「多目的会議室」
- 時間 14:00～15:00
- 内容 米価下落対策、TPP問題
- 主催 農民連

農民連